

令和4年6月10日

東京グローバルビジネス専門学校
学校長 佐々木 由 殿

学校関係者評価委員会

第3回 学校関係者評価委員報告書

2022年度学校関係者評価につき、下記の通り報告します。

記

1 開催状況

日程 : 令和4年6月7日(火)

会場 : 東京グローバルビジネス専門学校 202教室

2 報告内容

別紙の通り

以上

1. 『教育理念・目標』について

- ・現状の運用に問題はく、記載事項に総合的に同意できる。
- ・学園として整備をした新しい理念等を引き続き浸透できるよう努めていただきたい。

2. 『学校運営』について

・組織図の改定を行ったことでどのような効果が得られたのか具体的な説明を求めた。以前はチーム制の責任者を数名に集約していたが、改定後は責任者となる者を増やし、当事者意識を持つことを求めた。その結果、業務の質の向上を図ることができた旨の回答があった。組織の成長には個人の成長の底上げが必要となるため、今後も継続していただきたい。

3. 『教育活動』について

・教員の知識、技術の向上を図るための具体的な課題改善方法について説明を求めた。学生の長期休暇中に、教員を対象に、学びの場を提供しようと考えている。具体的には、教員としての人間力の向上をテーマに、外部や内部のスタッフによる教育プログラムの実施を検討している。現在は理念の浸透を図るために必要となる行動指針を、管理者との面談をとおし、目標を立て、定着を図っている旨の説明があった。実践的な取り組みとして評価できる。教職員がどんなときにも理念に立ち戻り、行動や教育をしていくことを期待し、今後とも継続していただきたい。

4. 『学習成果』について

・高い就職率の背景に卒業生の活躍があり、在校生の就職活動にも良い影響を与えている。過去の実績が、現在に良い影響を与えている点が評価できる。今後も卒業生との繋がりを大切にし、在校生の就職活動に活かして欲しい。

・各資格の合格率を上げるための取り組みについて具体的な教育方法の説明を求めた。授業外での資格対策の特別講座の実施、アプリケーションを用いた自宅学習の促進が挙げられた。さらに、今後は日商簿記対策のためのアプリケーションの導入も検討している旨の説明があった。従来の教育方法に加え、現代社会にあった教育方法を取り入れられていること、よりレベルの高い資格取得への意識づけができていることが評価できる。今後とも継続していただきたい。

・ビジネスプランニングの授業を通して、事業計画を作成し、それを発表する場を提供できていること、その成果として卒業生に経営者が誕生したことを評価したい。今後とも継続していただきたい。

5.『学生支援』について

・途中退学の対策として、さらなる就職先の充実を図るため、体制整備を推し進めていただきたい。

6.『教育環境』について

・現状の運用に問題はなく、記載事項に総合的に同意できる。

7.『学生募集と受入れ』について

・オンラインでの入学試験の取り組みについて質問をさせていただいた。コロナ禍における地方の感染防止対策としての位置づけであることを高等学校、日本語学校の先生に説明し、筆記試験の代替として、WEBでの課題提出やオンライン面接を連携して行った。時世に合った入試により、先生方との信頼関係を構築できていることを評価したい。だが、募集の拡大にも繋がるが、試験の質の低下等の懸念点の改善に尽力していただきたい。

8.『財務』について

・5の課題として挙げている中途退学の対策が必要と考える。

9.『法令等の遵守』について

・現状の運用に問題はなく、記載事項に総合的に同意できる。

10.『社会貢献・地域貢献』について

・現状の運用に問題はなく、記載事項に総合的に同意できる。

以上